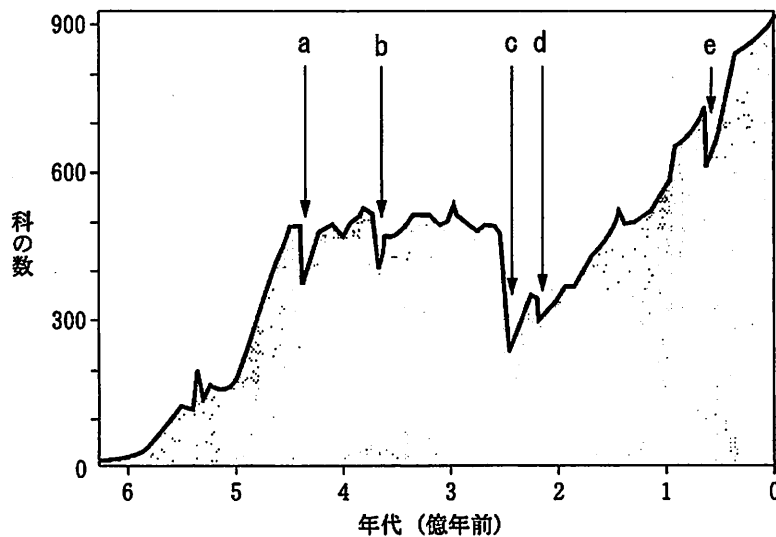


(問題2の続き)

問3 生物の大量絶滅に関する次の文章を読み、設問(1)～(4)に答えよ。

下図は、地質時代における海生動物の種類数(科の数)の変化を示している。多くの生物が短期間に姿を消す事象を大量絶滅といい、古生代以降現在までに少なくとも5回生じた。このうち2回は、(ア)紀末の古生代と中生代の境界と、(イ)紀末の中生代と新生代の境界に位置している。大量絶滅の原因としては、隕石の衝突など様々な原因が論じられている。



海生動物の種類数(科の数)の変動

Rohde & Muller (2005)より改変

- (1) 本文中の(ア)と(イ)に相当する紀レベルの地質時代名を記せ。
- (2) 古生代と中生代の境界に位置する大量絶滅期に相当する時期を、図中の矢印(a～e)から選べ。
- (3) 中生代と新生代の境界に位置する大量絶滅期に相当する時期を、図中の矢印(a～e)から選べ。
- (4) 中生代と新生代の境界に位置する大量絶滅の原因として、隕石衝突説が有力である。この説について100字程度で説明せよ。